



# WANTAIM

～日本とPNGと共に～

## PNG の伝統的な踊り、シンシンに参加

### 【鞭で打たれる踊り！？ウイップダンス！】

パプアニューギニアには800以上の言語があり、それに伴って800以上の部族が存在します。そして、部族ごとに“シンシン”と呼ばれる特色あるダンスや歌があります。パプアニューギニアでは、独立記念日など特別な日に“シンシン”を披露する伝統があります。私が住むポポンデッタ市でも大きなイベントが開かれ、さまざまな部族の衣装を身にまとった人たちが、自慢の“シンシン”を披露していました。その中でも、多くの観客の注目を集めていたのが、私が参加した「ウイップダンス」と呼ばれるシンシンでした。イベントの前日、大家さんの家族から突然「ウイップダンスで踊らないか？」と誘われました。以前、その個性的で少し過激なダンスを見たことがあった私は、最初は参加を迷いました。しかし、「人生に一度しかないチャンスかもしれない」と思い、参加を決めました。それでは、私がウイップダンスに参加した前日と当日を振り返ってみましょう。



住んでいる場所の奥のバナナ林を進むと…小さな集落が出現。



そこで翌日のダンスの衣装や前日に食べる伝統料理を作っていました。何やら薬草?の上からココナッツミルクを絞る様子。



ココナッツミルク、魚、米などの材料をバナナの葉や熱した石を使って煮込んだ伝統的な料理もいただきました。



正直、作っている時「おいしいのか？」と思いましたが、食べてみるとココナッツの甘さと魚のうま味が絶妙にバランスが取れていて、美味しかったです。



翌日叩かれるために使う鞭。藁のような枝のものですが、見た目以上にしっかりしていました…。(痛そう)

## 【いざ、シンシン】

独立記念日の当日。「8時には準備しておいてね」と言われ、隊員仲間と待っていました。もちろん予想どおり、8時になっても誰も来ません。9時くらいに来るだろうと思っていましたが、10時になってもまだ来ませんでした。「もしかして忘れられて、みんなだけでイベントに行ってしまったのでは…？」と不安になり、1時間ほど迷った末、自分たちで会場へ向かうことにしました。すると、住居の裏から急に変わった格好をした集団が現れ、「Mr. ！急げ！」と呼ばされました。「いや、遅れたのはあなたたちでしょ！」と思いつながらも、シンシンに参加させてもらえることに感謝して、急いで準備しました。衣装に着替え、顔にペイントをして…完成。先頭を歩かせてもらって会場へ向かいました。会場へ向かう途中や、着いてからは「日本人がシンシンに参加している！」と、ちょっとした騒ぎになりました。さらに、ウィップダンスの見せ場である「鞭で打たれる場面」では、大きな歓声が上がりました。「この粉を塗れば痛くないよ」と言われましたが、打たれた手首は真っ赤になり、後日しっかり腫れました(笑)。痛かったかどうかはご想像にお任せします。PNGには800以上の民族があり、多様な文化、歌、踊りがあります。その中でも特に珍しいシンシンに参加できたことを、とても嬉しく思います。そして、外国人である私を受け入れ、忘れられない体験をさせてくれた方々に感謝しています。PNGに来たら、ぜひ文化の象徴である「シンシン」を見たり、体験したりしてみてください！



魔法の粉…。塗ると、打たれたところは痛くならないと言われている…。



## 【Tolai whip dance（鞭打ちの踊り）について詳しく】

### 鞭で打たれる理由とは？？？

#### ① 通過儀礼や勇気の象徴

鞭で打たれることは、青年が大人になるための強さや勇気を示す行為とされている。痛みに耐えることで、共同体に対する誇りや成熟を表現。

#### ② 精神的な浄化

「邪気を払う」という考え方にも近い要素もあり。体を打たれて痛みに耐えることで、心身を清め、精霊や祖先とのつながりを強めると信じられている。

#### ③ 共同体の結束

打つ側と打たれる側が交互になったり、観衆が声援を送ったりすることで、共同体の団結を確認する意味もある。

### 【お知らせ】

打たれる動画はインスタへ！

@bridge\_png\_jpn

(動画＆写真見るなら、Instagramのアカウント)



インスタグラム動画チェック！

<https://www.instagram.com/reel/DRoZbS1EjYI/?igsh=cTU1Ym1iY2pzemN3>

